
“正義”と“悪”

回文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

“正義”と“悪”

【コード】

N5051E

【作者名】

回文

【あらすじ】

勇者によって倒された魔王の話。

古来より私達は人間という名の悪魔に虐げられてきた。

人間は私達のことを“魔物”と呼び、“狩り”という名の虐殺を繰り返してきた。

そんな奴らを許していいの？いや、いい筈がない。

しかし人間は驚くほどの統率されていて、挑んでいった私達の仲間
は、皆簡単に殺された。

私達に必要なものは統率力のあるリーダーだった。

そのリーダーは他でもないこの私で、人間からは“魔王”と、仲間
からは“救世主”といわれた。

私は今、自らを“勇者”と名乗る者達と戦っている。

「お前のせいで皆が苦しんでいる、何故お前は僕達人間を殺そうと
するんだ!？」

「よくも抜けぬけと・・・貴様らに答える義理などない。殺したい
から殺しているだけのこと!!!」

「殺したいから・・・そんな理由で？許せない！！」

といきなり勇者達は襲い掛かってきた。

一対一なら負ける気はしなかったが、相手は四人いた。

当然一対四では敵うわけもなく私は成す術も無くやれてしまった。

薄れゆく意識の中で私は勇者達の会話を聞いた。

人間達は私達を“悪”と称していた。

（私達は“悪”だったのか？）

答えは誰も教えてくれなかった。

人間達の歴史ではこう語られた。

何の罪も無い人間を滅ぼそうとした“悪”の権化である魔王を“正義”の使者である勇者が倒し、世界に平和が訪れた、と・・・正

(後書き)

簡単に言ってしまうえば、過程はどうかであれ勝ってしまったほうが正義、という話です。実際、今私たちが習っている歴史も“勝者”に改竄されたものなのかもしれません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5051e/>

“正義”と“悪”

2010年10月20日19時37分発行